

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
＜地域とつながるプロジェクト＞

○1年「昔の遊びをしよう」生活科 2月

- ・ 体育館
- ・ 1年生(21名) 祖父母・保護者(15名)
- ・ こま, あやとり, おはじき, だるまおとし, けん玉, お手玉など



○2年「野菜を育てよう」生活科 10月～12月

- ・ 学級園地
- ・ 2年生(23名) 地域の方(1名)
- ・ 大根を育てて収穫し, お世話になった地域の方を招いて大根パーティーを行った。



(大根の種をまく)



(育った大根)

○3年「曾根のお宝発見！」総合 4月～3月

- ・ 地域の方の田んぼや倉庫他
- ・ 3年生(28名) 地域の方(2名)
- ・ 曾根の農業や祭りについて, 地域の方の話を聞いたり, 実際に見せていただいたり, 体験させてもらったりして, 「曾根のお宝」いう観点でまとめ, 「曾根のお宝」とは何かを考えた。



(稲刈り体験)

○5年「だれもが暮らしやすい曾根にしよう (防災)」

- ・ 各教室 体育館 曾根保育園
- ・ 5年生(26名) 社会福祉協議会と視覚障害の方(2名) 曾根保育園児 地域の方
- ・ 熊本地震をきっかけに, 地震の被害にあった人々(お年寄り・幼児・体の不自由な人など)の暮らしや防災を取り巻く社会問題や防災に関わる人々の生き方などを調べた。
- ・ 福祉体験教室に参加した。
- ・ 曾根学区民防災訓練(土曜参観日)に参加し, 防災について調べたことをワークショップ形式で発表した。



(熊本地震ボランティアの方の話)



(福祉体験教室)



(防災訓練での発表)

○3, 5年「災害から命を守る(起震車体験)」 特別活動 12月

- ・各教室 校庭
- ・3学年（28名）5学年（26名）岡山市消防署の方（3名）
- ・南消防署の方に来ていただき，起震車体験を行い，地震発生時にどんな行動をすればよいか考えた。



（起震車体験）

○全学年「災害から命を守る（昭和の南海地震の話を聞く）」1月

- ・体育館
- ・全学年（151名） 地域の方（1名）
- ・開校記念集会のときに，昭和の南海地震の体験談を全校で聞いた。



（昭和の南海地震の話）

○全学年「災害から命を守る（曾根学区民防災訓練）」1月

- ・体育館他
- ・1～5学年（120名 6年生はインフルエンザのため学年閉鎖）地域住民（488名）防災士（1名） 興除中学校1年生（8名）
- ・自宅での地震発生を想定した避難訓練（保護者地域の方と一緒に校舎3階に避難）
- ・5年生 防災について調べたことをワークショップ形式で発表
- ・防災士の講演，興除中学校1年生のESD防災学習の発表
- ・引き渡し訓練



（5年生の発表）



（興除中学校1年生の発表）

<環境を守るプロジェクト>

○4年「ごみを減らし、大切な地球を守ろう」総合 4月～3月

- ・4年教室 他
- ・4年（22名） 明和製紙（1名） 環境学習センター「アスエコ」（2名）
- ・ごみを減らす活動や資源を大切にする活動の調べ学習や外部専門家の話から考えた自分にできる環境保全の実践活動に取り組んだ。



（明和製紙 紙はごみじゃない） （アスエコ節電省エネ探検隊） （アスエコ買い物マイルージ）

<様々な人とつながり、生き方を考えるプロジェクト>

○6年生「世界の子どもたちについて、知ろう 考えよう 実行しよう」総合 4月～3月

・6年教室 他

・6年(31名) ハート・オブ・ゴールドの方(事務局1名)

・世界の子どもたちの諸問題について調べ、自分の生活と比べて考えた。また、カンボジアの支援を行っているNPOの方を通して、自分にできる支援活動を行った。

・調べ学習や実践を通して、それぞれの国の特徴を尊重しながら相手のことを考えて実践することの大切さや支え合っていくことの必要性をとらえ、自分の生き方を考えた。



(ハート・オブ・ゴールドの方と交流会)

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()